

第29回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：審査員特別賞（高学年の部）

タイトル：お母さんのお守り

氏名：田代 なつみ（タシロ ナツミ）

小学校名：東京都 私立光塩女子学院初等科 五年

「これ、お守りなの。」

とお母さんが、お財布から、けい察庁マスコットキャラクターのピーポ君の絵が書いてある名しを見せてくれました。けい視庁戸塚けい察署交通課と書いてあります。

「これどうしたの？」

とお母さんに聞くと、事故にあった時に、もらったと教えてくれました。お母さんは、五年位前に、自転車に乗っていて、タクシーとぶつかり、事故にあってしまっていました。運よく、お母さんの自転車もタクシーもスピードが出ていなかったなので、ケガはありませんでした。でも、お母さんは、

「手がふるえてしまって、すごくこわかった、忘れられないよ。」

と言っていました。その時に一一〇番をして、かけつけてくれたのが、この名しのおまわりさんだったそうです。ケガはないかとか、自転車は、こわれていないかとか、優しく声をかけてくれたそうです。そして、

「何かあったら連絡してください。これから、気をつけてくださいね。」

と言ってこの名しをくれたそうです。それ以来、お母さんは、この名しをお財布に入れて守ってもらっていると言っていました。私はこの話を聞いて、おまわりさんはお母さんを心の中で支えていてくれていて、二度と事故にあわないようにしているのだと思いました。

私が低学年だったころ、学校の授業の宿題で、家の近くにある交番のおまわりさんにインタビューをしたことがあります。学校の名前を伝えたら、

「きみの学校を良く知っているよ。高円寺の交番にいたことがあったんだよ。」

と、教えてくれました。私は、あまり気にしていなかったけど、自分の知らないところで、ちゃんと見守ってくれたんだ、支えてくれていたのだと気づきました。そして、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

お母さんの電話には、近所の交番の電話番号が登録されています。引っこしてきた時に、おまわりさんがわざわざ家までたずねて来てくださって、この時も

「何かあったら連絡してください。」

と、電話番号を教えてくれたそうです。お母さんは、まだ一度も連絡したことは無いと思います。でもこれも、お母さんのお守りなんだそうです。何かあったらここに電話すればいいんだと思うと、安心して生活できると言っていました。

私もお母さんも、おまわりさんに見守られています。私は、おまわりさん達の見守りで安心して学校に行くことができます。お母さんは、おまわりさんがいてくれることで、安心して生活をしていられます。そんなおまわりさんに私は感謝しています。

これからも私達を見守っててください。